

製鉄記念広畑病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年 11月策定
平成30年 17月策定

【社会医療法人製鉄記念広畑病院の基本情報】（平成29年10月1日時点）

医療機関名： 製鉄記念広畑病院

開設主体： 医療法人

所在地： 〒671-1122 兵庫県姫路市広畑区夢前町3丁目1番地

許可病床数： 392床
（病床の種別） 一般病床 392床

（病床機能別） 高度急性期病床 198床
急性期病床 194床

稼働病床数： 392床
（病床の種別） 一般病床 392床

（病床機能別） 高度急性期病床 198床
急性期病床 194床

診療科目： 内科、 循環器内科、 消化器内科、 糖尿病内科、 腎臓内科、
神経内科、 緩和ケア内科、 外科、 消化器外科、 乳腺外科、
肛門外科、 血管外科、 整形外科、 リウマチ科、 脳神経外科、
形成外科、 小児科、 皮膚科、 泌尿器科、 産婦人科、
眼科、 耳鼻咽喉科、 頸部外科、 リハビリテーション科、
放射線科、 病理診断科、 救急科、 麻酔科

職員数： 663名（平成29年10月1日時点）※契約職員・非常勤等を除く

- ・ 医師 80名
- ・ 看護職員 386名（内訳）看護師 384名、準看護師 2名
- ・ 専門職 122名（内訳）薬剤師 25名、診療放射線技師 20名、
臨床検査技師 23名、視能訓練士 5名、
臨床工学技士 18名、理学療法士 16名、
作業療法士 3名、言語療法士 2名、
管理栄養士 3名、社会福祉士 7名、
- ・ 事務職員 75名

【 1. 現状と課題】

① 構想区域の現状

- a 病院・診療所等の医療資源は、圏域南部(姫路市南部)に集中し、北部(神崎郡、姫路市北部)に少ない。
- b 患者の約9割は、圏域内で入院医療及び救急医療を受けているが、疾患によっては、圏域外の医療機関を利用している。また、隣接する西播磨圏域からの患者流入が多い。
- c 中播磨圏域及び西播磨圏域は、三次救急西播磨ブロックに位置付けられ、姫路市所在の当院と県立姫路循環器病センターが、救命救急センターに指定されている。
- d 両圏域は、小児医療連携圏域及び周産期西播磨圏域に位置付けられ、姫路市所在の姫路赤十字病院が、その中核的な医療を担う機関として、地域小児医療センター及び総合周産期母子医療センターに指定されているが、地域周産期医療センターは設置されていない。
- e 医師数は、人口10万人あたり203.7であり、全国・全県平均に比べて低く、高齢化も進んでおり、医師不足等の影響により、後送輪番の辞退や一部診療科の休止等、必要な医療を提供できない医療機関が見受けられる。
- f 圏域の高齢化に伴い、認知症高齢者が増加しており、BPSD(周辺症状＝行動・心理症状)に家族や施設等が対応できていない。また、身体合併症を抱えた認知症患者への対応が精神科病床では難しいことから、治療や介護体制の充実と受入先の確保が必要である。
- g 在宅医療を必要とする患者は、摂食嚥下機能が低下している場合が多く、口腔機能の維持・向上や摂食嚥下障害、誤嚥性肺炎の予防のための口腔ケアや口腔機能管理の強化が求められる。
- h 身体合併症を有する精神科患者の医療提供体制や、長期入院患者の地域移行・地域定着支援については、未だ不十分な状況にある。

② 構想区域の課題

- a 中播磨・西播磨圏域の3次救急を初めとする高度専門・急性期医療の充実
- b 地域の医療機関の機能分担・連携の促進
- c 中播磨・西播磨圏域の医療機関等の研修体制、診療支援体制の充実
- d 当院と県立姫路循環器病センター統合再編後の姫路市南西部の医療提供体制の確保
- e 中播磨・西播磨圏域の周産期医療について、基幹的病院である姫路赤十字病院を補完するために必要な診療機能の充実
- f 医療従事者の確保・定着
 - i 研修医の病院間での相互研修体制の確立
 - ii 医療従事者等の教育・研修機能の充実
 - iii 潜在看護師、潜在歯科衛生士、潜在管理栄養士への復職研修
 - iv ICTを活用した研修システムの導入
 - v 勤務環境改善のための取組強化
 - vi 医療従事者を目指す若者の育成
- g 認知症に係る連携強化
 - i 医療及び介護従事者への認知症対応力向上研修
 - ii 認知症対応医療機関と介護事業所の連携体制の強化
 - iii 認知症疾患医療センター及び精神科病院と、一般医療機関との連携促進
- h 医科歯科連携の強化による口腔機能の管理強化の取組
 - i 身体合併症を有する精神科患者の医療提供体制の構築

③ 自施設の現状

- a 当院は姫路市南西部に位置し、「和」を院是として、昭和15年から地域の中核的基幹病院として医療を提供している。
- b 当院は総合型の病院で、ほぼ全ての診療科を標榜するとともに、平成25年度に姫路救命救急センターを開設した。これは、循環器疾患を専門に対応する県立姫路循環病センターの救命救急センターを除くと、中播磨・西播磨圏域の唯一の救命救急センターとなっている。また、兵庫県ドクターヘリ準基地病院として、更なる救急医療体制の充実に寄与している。
- c 急性期を中心とした医療の提供を行い、一般病棟入院基本料は7対1の届出を行っている。なお、平成28年11月から多様な患者対応を行うため、1病棟を地域包括ケア病棟とし届出を行った。現在、一般病棟298床、地域包括ケア病棟56床、HCU8床、救急病棟20床、E-ICU10床の構成となっている。
- d 最近の患者数、平均在院日数、病床稼働率は次のとおりである。(5年分)
- e 当院の正規職員は、平成29年10月1日現在で医師80名、看護師386名、医療技術職員122名(社会福祉士を含む)、事務職員は75名である。
- f 当院では、救命救急センターにドクターヘリや救急車で搬送される患者もあり、入院、外来ともに他圏域からの患者が概ね20%程度を占めている。このため、高度急性期、急性期を中心に対応し、急性期を脱した患者については、連携する医療機関へ転院を進めている。
- g 5疾病・5事業に関して、5疾病の「がん」領域では、平成24年に兵庫県指定がん診療連携拠点病院に指定され、専門医による質の高い手術、放射線治療、化学療法に加えて、がん相談支援センター、緩和ケアチームなど、多くのスタッフでがん患者を支える体制を整備している。
また「脳卒中」領域では、各種検査(X線検査、CT検査、MRI検査、血管連続撮影)・血栓溶解療法(t-PA)・外科的治療など24時間体制で実施可能な体制を整備するほか、5事業では救急医療以外に、周産期医療・小児医療や、災害医療としてDMATによる災害派遣、へき地医療拠点病院として医師派遣等を行っている。
- h 基幹型臨床研修病院および協力型臨床研修病院として、他の病院又は診療所と共同して研修医の臨床研修体制を整備している。

【診療実績 等】(直近5年分)

■患者数(1日平均)推移

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
外来	740	738	721	717	704
入院	291	302	318	310	313

■平均在院日数(入院)推移

H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
12.3日	11.6日	11.3日	12.0日	12.6日

■病床稼働率(入院)推移

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
稼働率	86.5%	78.7%	82.6%	80.5%	80.4%
*稼働病床数	333~363	363~384	384	384	384~392

*病床建替え および 休床等により稼働病床が異なる

④ 自施設の課題

中播磨・西播磨圏域における医療の現状、当院と県立姫路循環器病センターの両病院の診療機能、施設の状況等の現状と課題を踏まえ、今後の医療制度改革の動向に対応し、安定的・継続的に良質な医療を提供するため、両病院を統合再編し、新病院を整備することとした。

新病院は平成34年度上半期の開院を予定しており、平成29年2月に策定した基本計画を基に現在取り組んでいるところである。

新病院開設までの間、県立姫路循環器病センターと役割分担をしながら、これまでの地域医療の提供を継続するとともに、新病院に求められる医療等について諸準備を進めていく必要がある。

【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

新病院開設までの間、当院が地域において今後担うべき役割は以下のとおり。

- a 総合型の病院としての専門的な診療機能を活かし、成人を中心とした幅広い疾患に対応する。
- b 中播磨・西播磨圏域における救命救急センターとして県立姫路循環器病センターと連携し、両圏域における救急医療を提供する。

② 今後持つべき病床機能

新病院開設までの間、当院が今後持つべき病床機能は以下のとおり。

新病院における高度・専門的機能、救急機能に継承・発展させていくため、現在の高度急性期病床及び急性期病床を維持する。

③ その他見直すべき点

特になし

【3. 具体的な計画】

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期	190	→	
急性期	194		
回復期			
慢性期			
(合計)	384		

<年次スケジュール>

	取組内容	到達目標	(参考) 関連施策等
2017年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院開院支援業務 委託業者の選定・発注 ○ 設計委託業者の選定 ・発注 ○ 基本設計完成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姫路循環器病センターとの統合再編に向けた両病院職員によるWGの開催 ○ WGにおける諸室及び設備構成等の検討 	<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 集中的な検討を促進 2年間程度で </div>
2018年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施設計完成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ WGによる新病院における運用等の検討 	
2019～2020年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2019年度 施工業者の選定・発注、着工 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新病院への医療機器導入計画に基づく医療機器移設等の実施 	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 第7期 介護保険 事業計画 </div>
2021～2023年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2021年度 新病院での医療機能継承に伴う医療審議会等の審査 ○ 建物竣工・引渡 ○ 2022年度上期 新病院開院 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2021年度 新病院への移転及び開院準備着手 ○ 2021年度 新病院での医療機能継承に伴う各種手続 ○ 2022年度上期 新病院移転 ○ 後医療への旧病院引渡し 	<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 第7次医療計画 </div>
			<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 第8期 介護保険 事業計画 </div>

② 診療科の見直しについて

<今後の方針>

	現在 (本プラン策定時点)		将来 (2022年度)
維持	ほぼ全ての診療科を標榜する総合型の病院として28の診療科を維持する。	→	新病院開院にむけ、これまで提供してきた診療機能を継承することとし、診療科目を維持する。
新設		→	新病院の基本計画において設置予定の34診療科に対し、呼吸器内科、呼吸器外科、精神科など7診療科については現在、未設置であるが、今後、新病院開設に向けた取り組みの中で未設置の専門診療科について、整備（新設）する可能性あり。
廃止	予定なし	→	
変更・統合	予定なし	→	

③ その他の数値目標について

医療提供に関する項目

- ・ 病床稼働率： 81.2% → 86.8%
- ・ 手術室稼働率： 79.4% → 80.0%
- ・ 紹介率： 59.0% → 60.0%
- ・ 逆紹介率 74.1% → 80.0%

経営に関する項目

- ・ 人件費率： 52.4% → 53.8%
- ・ 医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合： 0.15%→0.15%

その他：

【4. その他】

県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院を統合再編するにあたり、新病院では診療機能の集約化、教育・研修機能を有するための指導体制の充実強化等を図るため、地域医療連携推進法人制度を活用し、統合前から、両病院相互間の機能分担および業務の連携を推進し、中播磨・西播磨圏域において質の高い効率的な医療提供体制を確保していく。